

令和2年度明るい選挙啓発 ポスター конкурール優秀賞作品



秦野市立南小学校1年
浜野 彩希



海老名市立杉本小学校2年
高森 千遙



秦野市立東小学校3年
小田 芹愛



海老名市立海老名小学校4年
阿部 優矢



綾瀬市立北の台小学校5年
小沼 煌学



厚木市立依知小学校6年
沼田 愛睦



伊勢原市立大山小学校6年
関西 凰次郎



伊勢原市立成瀬中学校1年
小倉 日向



秦野市立南中学校2年
加藤 優芽



秦野市立西中学校3年
岩田 朔也



神奈川県立白山高等学校1年
島村 碧



搜真女学校高等学部1年
小野 晏



神奈川県立神奈川工業高等学校2年
内海 菜乃香



神奈川県立小田原城北工業高等学校3年
古正 鈴佳



神奈川県立小田原城北工業高等学校3年
松浦 千紘



川崎市立中央支援学校高等部分教室3年
戸丸 麗

あらまし

「明るい選挙啓発ポスター」コンクールは、明るい選挙を推進するために、小学校・中学校・高等学校等の児童生徒の皆さんを対象に、毎年行われています。

今年もたくさんの応募があり、どの作品も選挙の大切さを表現するため意匠を凝らしていました。そのため選考が難しく、審査員も審査に当たり大変苦労しました。応募された皆さん、御協力いただいた先生方に深く感謝します。

これからも、一人でも多くの皆さんが、政治や選挙に興味を持って、応募してくださることを期待しています。

応募状況

今年度は、132校から、1,189点の応募がありました。

審査結果

令和2年10月8日に行われた県の審査会において、小学生7名、中学生3名、高校生6名の計16名の方が優秀賞を受賞されたほか、小学生27名、中学生18名、高校生9名の計54名の方の作品が佳作となりました。

審査員

櫻井 伸浩（神奈川県教育局指導部高校教育課高校教育企画室副主幹兼指導主事）

斎藤 靖司（知事室副主幹・広報デザインアドバイザー）

若山 美月（かながわ選挙カレッジ実習生）

石井 柚衣（かながわ選挙カレッジ実習生）

神奈川県選挙管理委員会委員

神奈川県選挙管理委員会書記長・書記長代理

“選挙のめいすいくん”

たくさんのお品
応募ありがとうございます！



審査講評

審査員代表 櫻井 伸浩

今年度、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、社会や生活の在り方が大きく変化しました。このような状況の中開催された「明るい選挙啓発ポスター」コンクールでしたが、今年度も多くの作品の応募がありました。県内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校から1,189点の応募があり、県の本審査で16点を優秀作品として選出し、全国審査に出品しました。

どの作品もそれぞれが感じた課題に対し、制作を通して自分自身のこととして捉え、向き合い、深く考えた表現は、観る者に強くメッセージを伝えています。その中から、印象に残った作品を紹介します。

・高森 千遙 さん のびやかに人物が描かれ、人や文字の重なりも画面の前後の広がりに対して効果的です。4人の人物は皆右手に投票用紙を持っています。投票箱に入れようとする流れの中に「みんなの大じなせんきょ」とメッセージが書かれ、鑑賞者の視点を誘導しています。

・沼田 愛睦 さん やわらかく色使いと丁寧な描写で人物を描き分けています。作品からは作者の優しさやおだやかさが伝わってきます。対角線上の「未来へ届け私の一票」とのメッセージは、描かれた人々の、多様な世代の思いを象徴しているようです。

・小倉 日向 さん 後ろ姿の人物は、歩幅と投票用紙を持つ手のペースを強調しています。人物のペースに合わせれば、国會議事堂はもっと小さくなります。人物の向かう先に大きく描かれています。「一步=投票」の大切さを伝えるため、気持ちで捉えた空間の構成が、スケールと強い意志として伝わってくる作品です。

・小野 晏 さん 画面は18に区切られ、中央に「18の選択」と書かれています。そのまわりを単色のピクトグラム様のアイコンが、福祉、経済、環境など、社会の課題やるべき姿を、表わしています。唯一3色で描かれた中央の「18」の人文字はアクセントとして効果的です。メッセージを深く考えさせる視覚伝達表現として秀逸な作品です。

・内海 菜乃香 さん 水の中・水の外の世界を、対比の要素として生かしています。水の中では、淀みにゆらぐネガティブな言葉とともに、グレーの魔の手が伸びています。水の外では、希望に満ちた表情の人物が、光に向けて手を伸ばしています。関係性で描く水面の表現をはじめ、美しい色感と高い描写力が「流されない勇気」ということばを最大限に生かしています。

・古正 鈴佳 さん 文字だけで構成された作品です。背景にうっすらと浮かぶ白い文字は、社会の課題や選挙に対するメッセージが書かれています。色や文字フォント等、構成要素を限定し、明度や彩度の強弱を生かした意図的な色彩選択により、文字の見え方に強弱や順序性が生まれ、より効果的にメッセージを伝えることに成功しています。しっかりととした構想のもと、制作された作品であると感じました。

選挙を自分のこととして捉え、課題解決に向けた考えを深める機会としての「明るい選挙啓発ポスター」コンクールが今後も継続し、すばらしい作品が集まることを期待しています。